

目次

はじめに

第 I 部 新しい時代に応える国土交通政策 ～技術の進歩と日本人の感性(美意識)を活かして～

第 1 章 平成の時代を振り返って	2
第 1 節 我が国の変化	2
1 人口減少・少子高齢化	2
2 我が国の経済状況	3
3 自然災害の脅威の顕在化	4
第 2 節 技術の進歩	5
1 情報通信技術 (ICT) ・ 省エネルギー化等の進展	5
2 超スマート社会 (Society 5.0) に つながる新技術の進歩	16
第 3 節 日本人の感性 (美意識) の変化	20
1 平成以前の日本人の感性 (美意識)	20
2 平成の日本人の感性 (美意識)	25
第 2 章 これまでの国土交通政策の変化	36
第 1 節 技術の進歩を踏まえた変化	36
1 情報通信技術 (ICT) ・ 省エネルギー化等による変化	36
2 超スマート社会 (Society 5.0) に つながる新技術による変化	42
第 2 節 日本人の感性 (美意識) を踏まえた 変化	48
1 文化・歴史の振興に向けた変化	48
2 官民が一体となった集う空間・優しい 空間づくり (つながりの創出)	53
3 自然との調和に向けた変化	55
第 3 章 新しい時代と国土交通政策	57
第 1 節 技術の更なる進歩等をもたらす 社会の変化	57
1 新技術とその活用等による「時間的・ 場所的な制約」からの解放	58
第 2 節 日本人の感性 (美意識) を活かした 豊かな「生活空間」の創出	70
1 新しい時代における日本人の 感性(美意識)と「生活空間」の関係	70
2 日本人の感性 (美意識) を取り込んだ 「生活空間」の方向性と今後の取組み	77
まとめ	97
参考文献	98

第Ⅱ部 国土交通行政の動向

第1章 東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組み	102
第1節 復旧・復興の現状と対応策	102
第2節 インフラ・交通の着実な復旧・復興	103
第3節 復興まちづくりの推進・居住の安定の確保	104
第4節 地域公共交通の確保と観光振興	106
第5節 復興事業の円滑な施工の確保	106
第6節 福島復興・再生等	107
第7節 東日本大震災を教訓とした津波防災地域づくり	108
第2章 時代の要請にこたえた国土交通行政の展開	109
第1節 国土政策の推進	109
第2節 社会資本の老朽化対策等	110
第3節 社会資本整備の推進	112
第4節 交通政策の推進	116
1 交通政策基本法に基づく政策展開	116
2 地域公共交通ネットワークの再構築	117
3 MaaS等新たなモビリティサービスの推進	119
4 総合的な物流政策の推進	120
第5節 観光政策の推進	120
1 「明日の日本を支える観光ビジョン」の着実な推進	120
第6節 海洋政策（海洋立国）の推進	121
1 海洋基本計画の着実な推進	121
2 我が国の海洋権益の保全	122
第7節 海洋の安全・秩序の確保	125
第8節 水循環政策の推進	129
1 水循環基本法に基づく政策展開	129
2 流域マネジメントの推進	129
第9節 自転車活用政策の推進	130
1 自転車活用推進法に基づく自転車活用推進計画の策定	130
2 安全で快適な自転車利用環境の創出	131
3 サイクリング環境向上によるサイクルツーリズムの推進	131
第10節 効率的・重点的な施策展開	132
1 i-Constructionの推進～建設現場の生産性向上～	132
2 公共工事の品質確保と担い手の確保・育成	133
第11節 新たな国と地方、民間との関係の構築	135
1 官民連携等の推進	135
第12節 政策評価・事業評価・対話型行政	136
1 政策評価の推進	136
2 事業評価の実施	136
3 国民に開かれた行政運営と対話型行政の推進	136
第13節 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた取組み	137
第3章 観光先進国の実現と美しい国づくり	138
第1節 観光をめぐる動向	138
1 観光立国の意義	138
2 観光の現状	138
第2節 観光先進国の実現に向けた取組み	139

1 観光資源の魅力を極め、 地方創生の礎に	139	第3節 良好な景観形成等美しい国づくり	150
2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、 我が国の基幹産業に	144	1 良好な景観の形成	150
3 すべての旅行者が、ストレスなく 快適に観光を満喫できる環境に	146	2 自然・歴史や文化を活かした 地域づくり	151
第4章 地域活性化の推進	154		
第1節 地方創生・地域活性化に向けた 取組み	154	第3節 民間都市開発等の推進	167
第2節 地域活性化を支える施策の推進	155	1 民間都市開発の推進	167
1 地域や民間の自主性・裁量性を 高めるための取組み	155	2 国家戦略特区の取組み	168
2 コンパクトシティの実現に向けた 総合的取組み	157	第4節 特定地域振興対策の推進	169
3 地域特性を活かしたまちづくり・ 基盤整備	157	1 豪雪地帯対策	169
4 広域ブロックの自立・活性化と 地域・国土づくり	162	2 離島振興	169
5 地域の連携・交流の促進	164	3 奄美群島・小笠原諸島の 振興開発	169
6 地域の移動手手段の確保	165	4 半島振興	169
		第5節 北海道総合開発の推進	170
		1 北海道総合開発計画の推進	170
		2 特色ある地域・文化の振興	172
第5章 心地よい生活空間の創生	174		
第1節 豊かな住生活の実現	174	1 緑豊かな都市環境の形成	179
1 住生活の安定の確保及び向上の促進	174	2 歩行者・自転車優先の道づくりの推進	180
2 良好な宅地の供給及び活用	178	第3節 利便性の高い交通の実現	181
第2節 快適な生活環境の実現	179		
第6章 競争力のある経済社会の構築	184		
第1節 交通ネットワークの整備	184	1 グローバル・サプライチェーンの 深化に対応した物流施策の推進	195
1 幹線道路ネットワークの整備	184	2 国内における効率的・持続的な 物流システムの構築のための施策	199
2 幹線鉄道ネットワークの整備	187	第3節 産業の活性化	201
3 航空ネットワークの整備	189	1 鉄道関連産業の動向と施策	201
4 空港への交通アクセス強化	195	2 自動車運送事業等の動向と施策	203
第2節 総合的・一体的な物流施策の推進	195		

3	海事産業の動向と施策	206	7	トラックターミナル事業の動向と施策	213
4	航空事業の動向と施策	212	8	不動産業の動向と施策	213
5	貨物利用運送事業の動向と施策	212	9	持続可能な建設産業の構築	216
6	倉庫業の動向と施策	213			
第7章 安全・安心社会の構築 220					
第1節	ユニバーサル社会の実現	220	2	鉄軌道交通における安全対策	261
1	ユニバーサルデザインの考え方を 踏まえたバリアフリー化の実現	220	3	海上交通における安全対策	263
2	少子化社会の子育て環境づくり	222	4	航空交通における安全対策	267
3	高齢社会への対応	223	5	航空、鉄道、船舶事故等における 原因究明と再発防止	270
4	歩行者移動支援の推進	224	6	公共交通における事故による 被害者・家族等への支援	270
第2節	自然災害対策	224	7	道路交通における安全対策	271
1	防災意識社会への転換	224	第5節	危機管理・安全保障対策	277
2	災害に強い安全な国土づくり・ 危機管理に備えた体制の充実強化	230	1	犯罪・テロ対策等の推進	277
3	災害に強い交通体系の確保	255	2	事故災害への対応体制の確立	281
第3節	建築物の安全性確保	259	3	海上における治安の確保	281
第4節	交通分野における安全対策の強化	260	4	安全保障と国民の生命・財産の 保護	283
1	運輸事業者における安全管理体制の 構築・改善	260	5	感染症対策	284
第8章 美しく良好な環境の保全と創造 285					
第1節	地球温暖化対策の推進	285	1	生物多様性の保全のための取組み	296
1	地球温暖化対策の実施等	285	2	豊かで美しい河川環境の形成	297
2	地球温暖化対策（緩和策）の推進	286	3	海岸・沿岸域の環境の整備と保全	298
3	再生可能エネルギー等の利活用の推進	290	4	港湾行政のグリーン化	299
4	地球温暖化対策（適応策）の推進	292	5	道路の緑化・自然環境対策等の推進	300
第2節	循環型社会の形成促進	292	第4節	健全な水循環の維持又は回復	300
1	建設リサイクル等の推進	292	1	水の恵みを将来にわたって享受できる 社会を目指して	300
2	循環資源物流システムの構築	294	2	水環境改善への取組み	301
3	自動車・船舶のリサイクル	295	3	水をはぐくむ・水を上手に使う	302
4	グリーン調達に基づく取組み	295	4	下水道整備の推進による快適な生活の 実現	305
5	木材利用の推進	296	第5節	海洋環境等の保全	309
第3節	豊かで美しい自然環境を保全・ 再生する国土づくり	296			

第6節 大気汚染・騒音の防止等による生活環境の改善	311	5 シックハウス等への対応	313
1 道路交通環境問題への対応	311	6 建設施工における環境対策	314
2 空港と周辺地域の環境対策	312	第7節 地球環境の観測・監視・予測	314
3 鉄道騒音対策	312	1 地球環境の観測・監視	314
4 ヒートアイランド対策	312	2 地球環境の予測・研究	317
		3 地球規模の測地観測の推進	317
第9章 戦略的国際展開と国際貢献の強化	318		
第1節 インフラシステム海外展開の促進	318	1 経済連携における取組み	330
1 政府全体の方向性	318	2 国際機関等への貢献と戦略的活用	331
2 国土交通省における取組み	318	3 各分野における多国間・二国間国際交渉・連携の取組み	334
第2節 国際交渉・連携等の推進	330	第3節 国際標準化に向けた取組み	339
第10章 ICTの利活用及び技術研究開発の推進	341		
第1節 ICTの利活用による国土交通分野のイノベーションの推進	341	9 気象データを活用したビジネスにおける生産性向上の取組み	348
1 ITSの推進	341	10 スマートシティの推進	348
2 自動運転の実現	342	第2節 技術研究開発の推進	349
3 地理空間情報を高度に活用する社会の実現	343	1 技術政策における技術研究開発の位置づけと総合的な推進	349
4 電子政府の実現	345	2 公共事業における新技術の活用・普及の推進	351
5 公共施設管理用光ファイバ及びその収容空間等の整備・開放	346	第3節 建設マネジメント（管理）技術の向上	351
6 ICTの利活用による高度な水管理・水防災	346	1 公共工事における積算技術の充実	351
7 オープンデータ化の推進	346	2 BIM/CIMの取組み	352
8 ビッグデータの活用	347	第4節 建設機械・機械設備に関する技術開発等	352

コラム

- コンクリート技術の発展 15
- 「人工知能（AI）」の歴史 19
- 赤ちゃんの「名前ランキング」にみる
日本人の感性（美意識） 35
- 過去からのメッセージを未来へ
～自然災害の「伝承碑」を電子地図に～ 46
- 芸術祭による賑わいの創出
～「アートのか」を活用した地域活性化～ 72
- アートの支援者 75
- ねぶくろシネマ～河川敷で映画鑑賞～ 89
- 「インフラみらいMAPプロジェクト」の
推進～岩手県釜石市版「インフラみらい
MAP釜石（試行版）」を公開～ 114
- ストック効果最大化を目指して 115
- ～海洋状況表示システム「海しる」
運用開始～ 124
- 大和堆周辺海域に接近する北朝鮮漁船等に
厳正に対処 127
- インフラツーリズムによる観光・
地域づくりの推進 140
- 被災観光地の復興支援
（平成30年度に発生した災害） 142
- 非常時の外国人旅行者の安全・安心確保
..... 143
- 「ウポポイ」が2020年4月オープン！ 173
- 「防災気象情報の伝え方に関する検討会」
..... 227
- 高規格堤防の整備を効率的に進めるための
新たな取組みについて 231
- 生産性革命プロジェクト ダム再生
～地域経済を支える利水・治水能力の
早期向上～ 232
- 実効性のある避難を確保するための
警戒避難体制の強化の取組み 240
- 復興まちづくりに向けた事前準備
～復興まちづくりのための事前準備
ガイドライン～ 245
- 高速道路4車線化による効果について 255
- 頻発化・甚大化する災害に対する鉄道の
復旧に関する取組み 258
- 関西国際空港連絡橋へのタンカー
衝突事故を踏まえた再発防止の取組み 266
- 「海上保安制度創設70周年記念観閲式及び
総合訓練」及び「海上保安制度創設70周年
記念式典」を挙行 282
- 「東京2020オリパラ開催期間における
渇水対応の強化」 303
- 下水道での紙オムツ受入に向けて 308
- 海洋環境保全推進活動について 310
- トップセールスの精力的な推進 319
- 日カンボジア都市開発・不動産開発
プラットフォームの設立と第一回会合の
開催 327
- 航空重力測量で標高の仕組みを大転換！
..... 344

※本白書に掲載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではない。